

ハーモニーⅣ 令和7年度実績及び令和8年度目標値一覧【基本目標Ⅱ】

資料1-2										
基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	実績 (令和6年度)	目標値 (令和7年度)	実績 (令和7年度)	目標値に対する現状分析、課題及び 令和6年度実績からの増減理由	目標値 (令和8年度)	担当課
Ⅱ 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	1 男女共同参画意識の普及・啓発	男女共同参画に関する啓発誌の発行回数	4回 (令和2年度)	↗	2回	2回	3回	次のとおり啓発紙を発行し、目標値に到達した。 ・かすたねっと ・はばたけ未来へ自分らしく生きていこう ・デートDV手帳	3回	多世代交流プラザ
		固定的な性別役割分担に反対する男性の割合	45.4% (令和2年度)	↗	78.7%	82.0%	77.7%	男女共同参画普及員研修会・男女共同参画基礎講座により、固定的な性別役割分担について、理解を深めることができたが、目標値には届かなかった。 今後も意識啓発を促す講座を行っていく。	78.7% 80.0%	多世代交流プラザ
		男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	559人 (令和2年度)	↗	1,705人	1,800人	1,326人	男女共同参画意識の高揚を図ることを目的とした各種講座を開催したが、目標値には届かなかった。 ・講座 859人 ・講演会300人 ・映画会 167人 引き続き、魅力ある講座の企画運営や効果的な周知を行っていく。	1,400人	多世代交流プラザ
		子育て支援室各種講座への男性の参加人数	125人 (令和2年度)	↗	237人	250人	285人	男性が参加できる日時設定や講座内容を見直したことで年々男性の参加が増えている。今後も男性が参加できる子育て講座開催をしていく。	290人	子育て世代包括支援センター
		普及員設置区数	33区 (令和3年度)	↗	31区	31区	22区	普及員を区から選出する普及員という形態にこだわることなく、多角的な手法で市全体の男女共同参画を普及し、普及員のあり方も含めて検討をする。	22区	多世代交流プラザ
	2 子どもにとっての男女共同参画	将来の夢や目標を持っている子どもの割合	82.4% (令和2年度)	↗	77.5%	85.0%	80.4%	夢を持っていると回答した割合は、小5年、中2年、高1年、すべての学年において、令和6年度実績より増加していた。その一方で、「今は、夢を持っていない」と回答した割合は、小5年の10%に比べて、中2年22%、高1年26%と学年が上がるにつれ高くなっていた。これは小学生が憧れとしての夢を描いているのに対して、自己理解が深まる中高生はより現実的な夢を探し始めることが一つの要因となっていると考えられる。時代の変化に柔軟に対応できるよう、夢や目標を持ち粘り強く努力する子どもを育めるよう、こども・夢チャレンジ推進事業を充実させていく必要がある。	85.0%	こども政策課
		男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	2校 (令和元年度)	↗	3校	3校	3校	令和元年度より希望した中学校のみで出張講座を実施していたが、令和5年度からは毎年3校ずつの輪番制とし実施することとしている。	3校	多世代交流プラザ
		生と性のカリキュラムの実施 (小学校・中学校＋高校)	23校 (令和2年度)	↗	28校	28校	29校	目標達成できた。市内小中学校に関しては、全校で実施。	29校	保健センター
		生と性のカリキュラム（2時間）の完全実施校数	13校 (平成30年度)	↗	20校	25校	23校	完全実施した学校は、小学校15校、中学校8校。小学校での実績数が増えている。小学校での生と性のカリキュラムが定着してきたためと考える。 生と性のカリキュラムは小中学校全学年で2時間計画されており、完全実施に向けて取り組んでいる。児童生徒の現状を踏まえ、令和5年度は、指導内容を見直し、指導案を作成した。令和8年度は令和7年度同様、市内全小中学校で完全実施できるよう取り組んでいきたい。	25校	学校教育課
		職業体験実習の実施（中学校）	9校 (平成30年度)	↗	9校	9校	9校	キャリア教育の柱として全中学校で当初から計画準備をしていた。職場体験を通じて働くことの意義を実感し、将来の職業選択に対する意識を高めることができた。また、人間関係形成力など社会で自らの役割を果たすために必要な力を身に付けることができた。	9校	学校教育課